学校番号	110

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	世界史探究（東京書籍）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社） 新世界史研究ノート応用編（株式会社啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史演習では、「今・ここ」を生きる私たちに大きく関わる近現代の歴史を中心的に学びます。また、世界史演習では世界史の知識や歴史的な見方・考え方を活用できることをめざします。近現代の世界と過去の世界がどのように結びつき、関係しているのかをこれまでに学んだ知識、様々な資料や文献、そして時事問題などを活用しながら、「歴史を考える力」を養いましょう。授業の際は、以下のことを意識しながら授業に臨んでください。

●資料や文献などから情報を読み取り、根拠を示して自分の意見をまとめる。
●過去の世界や社会と近現代の世界や社会とのつながりを意識する、考える。
●これまでに学んだ知識や見方を活用して他者と議論や意見交換する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切・効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移・比較・相互の関連・現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○歴史の大きな枠組みと諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ○諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。	○歴史の枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、時期や年代、推移・比較・相互の関連等に着目し、多面的に考察したり、課題の把握や解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察した内容をまとめたり、説明した内容をもとに議論したりすることができる。	○世界の歴史の諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ○学習内容と現代世界とのつながりを、身近な題材をもとに考えようとしている。 ○国家および社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に考察しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第16章　アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	1. 列強の覇権争い 2. 西アジア・中央アジアの変革 3. 南アジア・東南アジアの民族運動 4. 清の体制転換と近代国家建設の模索	a:欧米の帝国主義と工業化が、アフリカやアジア諸地域に対する支配方法やアフリカ・アジア諸地域の民族運動に与えた影響などについて構造的に理解している。 b:19 世紀後半にヨーロッパ列強がアフリカ内陸部を分割して支配するようになった理由や、アフリカ・アジア地域で起こった民族運動の背景などについて諸資料を活用し、多面的に考察している。 c:「アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等
	第17章　第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	1. 第一次世界大戦 2. ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 3. 大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ 4. アジア・アフリカでの国家形成の動き	a:第一次世界大戦の勃発、大戦中に起こった革命（ロシア革命・ドイツ革命）、第一次世界大戦後の国際秩序形成について構造的に理解している。 b:第一次世界大戦が長期化したことが参戦国にどのような影響を与えたか、また大戦前と大戦後を比較し国際秩序がどのように変容したかについて諸資料を活用しながら、多面的に考察している。 c:単元での学習内容をもとにして、当時の社会の姿が現代の国際関係や現在の世界とどのような関わりがあるかについて考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

	第18章　国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	1. 世界恐慌と政治・経済の変容 2. 国際協調体制の動揺 3. 第二次世界大戦の開戦と展開 4. 戦後秩序構想と冷戦の形成	a:世界恐慌以降の国際秩序の変容と世界の動向について、ナチスの政権掌握、ヴェルサイユ体制の崩壊、ファシズム勢力と反ファシズム勢力の対立、第二次世界大戦の勃発などに注目して構造的に理解している。 b:世界恐慌が政治や経済に与えた影響を、ファシズム勢力の台頭に注目して多面的に考察しようとしている。また、大戦前の動向が大戦後の国際秩序構想にどのような影響を与えたかについて多面的に考察しようとしている。 c:各国の為政者が市民に対して行った政策や、一般の市民の反応などについて調べ、戦争と政治、戦争が与える国際関係絵の影響などついて、現代世界の課題を事例にして考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等
	第19章　第二次世界大戦と戦後の東アジア	1. アジア・太平洋戦争と日本の敗戦 2. 帝国の解体と分断国家の形成 3. アジア諸国の独立と脱植民地化 4. 朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」	a:日本の敗戦と占領統治、アジア諸国の独立と脱植民地化、アジアでの社会主義国家の成立と「冷戦」のアジアへの拡大などについて知識を習得している。 b:冷戦と植民地の独立との関わりについて、諸資料を活用して考察しようとしている。また、アジアでの社会主義国家(中国・北朝鮮）の成立が西側諸国や日本統治に与えた影響について、ヨーロッパでの東西対立に注目しながら、考察しようとしている。 c:第二次世界大戦後のアジア諸国の民族運動やそれに対するアメリカやソ連の動向を、諸資料を活用して、世界各地の民族運動との比較しその特徴を考えようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

後期	第20章 冷戦の世界化と国際制度	1. 冷戦と政治･経済秩序 2. アジア･アフリカ諸国の独立と第三勢力 3. 平和共存と社会主義圏の多極化	a:アジア・アフリカ諸国の独立、第三勢力の成立、平和共存や社会主義圏の多極化などについて理解している。 b:冷戦下の世界で政治・経済・安全保障の秩序はどのように構想されたのか、また冷戦下で東西のバランスはどのように推移したのかを諸資料を活用して多面的に考察している。 c:冷戦の世界化と国際制度の成立とを結びつけて考え、学びを深めている。また、自ら主題を設定して考察しようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート ﾌﾟﾘﾝﾄ課題 ワーク等
	第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化	1. アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容 2. 冷戦の変容と世界の諸地域 3. 冷戦の終結とその後の世界 4. アメリカ合衆国の復調とグローバル化	a:冷戦の変容と変容に対するアジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の反応、冷戦の終結と終結後の世界秩序形成について理解している。 b:冷戦の終結がどのようにもたされたのか、冷戦後の世界秩序がどのように構想されたのかを諸資料を活用して多面的に考察しようとしている。 c:冷戦終結後の東西陣営の庶民生活の在り方やグローバル化などに注目し、世界の動向が民衆の生活にどのような影響を与えたのかを諸資料を活用して、考察しようとしている。また、自らの意見をもとに自分自身の生活と世界とのつながりを考えようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート ﾌﾟﾘﾝﾄ課題 ワーク等
	第22章 21世紀の地球的課題と人類社会	1. グローバル化にともなう世界の変容 2. 地球的諸課題 3. 新たな秩序変容	a:グローバル化と現代の地球的諸課題（環境問題、原子力核兵器管理、宇宙開発と国際協力など）、現代の国際秩序とその変容などについて理解している。 b:地球的規模の課題が登場する背景や、グローバル化にともなう国際秩序の変容などについて諸資料を活用し、多面的に考察することができている。 c:現代の地球的諸課題の解決法や人類社会の在り方について自ら考え、意見をまとめようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート ﾌﾟﾘﾝﾄ課題 ワーク等

	文化史	世界史の授業で扱った様々な時代や地域の文化史を取りあげ、各時代や地域の文化の特徴、時代・地域による差異や類似点、宗教や政治などとのかかわりについて学び、考えを深める。	a:時代・地域ごとの文化の特色、登場した背景、宗教や政治などとの関わりについて理解している。 b:諸資料を活用し、時代や地域ごとの文化の特色を自ら考えようとしている。また、その文化が成立した背景を時代の動向や地理的・文化的特徴などに注目し、多面的に考察しようとしている。 c:文化に対する見方・考え方を活用し、現代社会と文化との関わり、文化と自分自身の関わりについて考え、調べようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等
	問題演習	これまでに学習した世界史の知識の活用をめざし、様々な問題演習を行う。	a:これまでに学んだ世界史の知識を活用し、演習問題に答えることができている。 b:論述問題などを通して、これまでに習得した知識をもとに意見をまとめ、表現することができている。 c:演習を通して不明点や疑問に思ったこと、気になったことなどを諸資料を活用して調べ、知識をさらに深めようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度